



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場会社名 オムロン株式会社
 コード番号 6645
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名山田義仁
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 理財センタ長
 氏名 大上高充

上場取引所 東証、大証 各市場第一部
 URL <http://www.omron.co.jp/>

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	304,216	0.3	17,991	△20.8	17,220	△18.3	12,271	△5.6
24年3月期第2四半期	303,258	1.8	22,713	△7.1	21,073	△10.4	12,998	△13.3

(注) 四半期包括利益 25年3月期第2四半期 194百万円 (- %) 24年3月期第2四半期 △2,524百万円 (- %)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	55	74	55	74
24年3月期第2四半期	59	06	59	06

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	514,715	319,377	318,114	61.8
24年3月期	537,323	321,680	320,840	59.7

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
24年3月期	—	—	14	00	—	—	14	00	28	00
25年3月期	—	—	14	00	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

(注2) 25年3月期期末の配当金は未定です。

詳細は、「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	650,000	4.9	46,000	14.6	43,000	28.2	28,500	73.9	129	47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無
② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	239,121,372株	24年3月期	239,121,372株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	18,989,478株	24年3月期	18,991,739株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	220,129,657株	24年3月期2Q	220,087,288株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年8月10日内閣府令第64号）附則第4条の規定により、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成しています。

3. 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。

4. 25年3月期の期末配当金につきましては、当社業績予想の確実性が高まった時点で、当社の利益配分に関する基本方針に基づいて決定し開示いたします。時期としては遅くとも、平成25年4月を予定しています。

5. 当社は、平成24年10月31日（水）に投資家向け説明会を開催する予定です。

その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）

E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）

A E C : オートモティブ・エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）

S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）

H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

その他：環境事業推進本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、オムロンレジジョンテクノロジー(株)など

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12
(6) セグメント情報等	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

○ 全般的概況

当第 2 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月～9 月）における当社グループの業績は、東日本大震災等の一時的な変動要因があった前年同期と比較すると、I A B（制御機器事業）で売上高が伸び悩んだものの、A E C（車載事業）・S S B（社会システム事業）・H C B（ヘルスケア事業）が好調に推移し、売上高はほぼ横ばいとなりました。当社の認識として、当第 2 四半期連結累計期間の概況は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

日本：自動車業界は堅調に推移するも半導体業界などが低迷し、景況感は悪化
 米国：自動車業界等が堅調に推移し、景況感は回復傾向
 欧州：金融不安の拡大により欧州経済は低迷
 中国：底堅い需要はあるものの、経済情勢の悪化などにより成長率は鈍化
 アジア：タイの復興需要を含めアセアン新興国は堅調、半導体業界は低迷

<当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連：欧州以外での設備投資・部品需要は堅調
 半導体関連：スマートフォンを除く設備投資需要は低調
 工作機械関連：新興国向けを中心に設備投資需要は堅調
 家電・電子部品関連：白物家電向け設備投資・部品需要は堅調
 健康機器関連：新興国での健康意識の高まりなどで需要は堅調

このようななか、当社グループは当期の年度方針を「Accelerate VG2020！～“競争能力強化”による高成長構造と高収益構造の実現～」とし、実行プランとして「IA 事業の最強化」「アジア・中国を中心とした、新興国での売上拡大」、「強いビジネスモデルの構築による、環境事業の売上拡大」を進め、着実に中長期の売上・利益拡大に向けた施策を実行してまいりました。

結果としての当第 2 四半期連結累計期間の業績結果は以下の通りです。売上高は前年同期並みとなりましたが、営業利益は前年同期比で減少しました。営業利益の減少は、主にユーロ安、I A B（制御機器事業）における前年度の一時的な売上増（東日本大震災の影響による一時的な需要増）の反動によるものです。

	平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
売上高	3,032 億 58 百万円	3,042 億 16 百万円	+0.3%
営業利益	227 億 13 百万円	179 億 91 百万円	△20.8%
税引前四半期純利益	210 億 73 百万円	172 億 20 百万円	△18.3%
当社株主に帰属する 四半期純利益	129 億 98 百万円	122 億 71 百万円	△5.6%
米ドル平均レート	79.7 円	79.4 円	△0.3 円
ユーロ平均レート	114.1 円	101.1 円	△13.0 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	618 億 21 百万円	586 億 77 百万円	△5.1%
	海外	813 億 47 百万円	712 億 16 百万円	△12.5%
	合計	1,431 億 68 百万円	1,298 億 93 百万円	△9.3%
営業利益		214 億 13 百万円	147 億 8 百万円	△31.3%

<国内売上高の状況>

自動車関連業界は、ほぼ前年同期並みの需要で推移しましたが、電子部品や半導体関連業界では設備投資需要が低調に推移したことから、主力の制御機器の売上が伸び悩みました。当第 2 四半期連結累計期間における国内売上高は、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な売上増の反動もあり、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では好調な自動車業界に支えられ堅調に推移しました。欧州では金融不安が継続し需要は低迷しました。また、中国では底堅い需要はあるものの内需の弱含みにより低迷しました。さらに、アジアでは新興国全体の底堅い需要はあるものの、半導体業界等の設備投資抑制などにより需要は低迷しました。当第 2 四半期連結累計期間における海外売上高は、東日本大震災の影響による前年同期の中国・アジアでの一時的な売上増の反動もあり、前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

ユーロ安や前年同期の一時的な売上増の反動による売上高の減少、積極的な投資実行などにより前年同期比で減少しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	111 億 85 百万円	133 億 75 百万円	+19.6%
	海外	295 億 86 百万円	292 億 30 百万円	△1.2%
	合計	407 億 71 百万円	426 億 5 百万円	+4.5%
営業利益		41 億 52 百万円	32 億 10 百万円	△22.7%

<国内売上高の状況>

民生業界の需要は横ばいで推移しましたが、自動車業界などでは前年同期の東日本大震災の影響で落ち込んだ需要が回復しました。その結果、当第 2 四半期連結累計期間における国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では自動車業界の需要は増加しましたが、民生業界向けは減少しました。欧州では金融不安が継続し需要は低迷しました。また、中国では欧州の景気低迷やユーロ安に伴う輸出不振により民生業界の需要が減少しました。それらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における海外売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

ユーロ安やグループ内への売上の減少などにより前年同期比で減少しました。

A E C (車載事業)

		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	124 億 83 百万円	158 億 73 百万円	+27.2%
	海外	275 億 82 百万円	313 億 84 百万円	+13.8%
	合計	400 億 65 百万円	472 億 57 百万円	+18.0%
営業利益		14 億 30 百万円	27 億 80 百万円	+94.4%

<国内売上高の状況>

政府によるエコカー購入支援策（エコカー減税の延長・補助金復活）や新型軽自動車の販売好調などにより、自動車需要は好調に推移しました。当第 2 四半期累計期間における国内売上高は、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な売上減の反動もあり、前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

金融不安による欧州経済の緊縮財政や雇用環境の悪化により一部の部品需要は低迷しましたが、総じて海外自動車メーカーや新興国市場の需要は好調に推移しました。その結果、当第 2 四半期連結累計期間における海外売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な生産調整の反動などにより前年同期比で増加しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		204 億 54 百万円	234 億 71 百万円	+14.8%
営業利益（△損失）		△34 億 92 百万円	△18 億 81 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の旅客収入の東日本大震災の影響による前年同期の一時的な落ち込みの反動等により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で増加しました。さらに各社で前年度抑制されていた老朽化による機器の更新投資も堅調に推移し、機器の納入および関連設置工事も拡大しました。また、駅のホームの安心・安全に対するニーズも高まっています。

<交通管理・道路管理システム事業、他の売上高の状況>

交通管理・道路管理システム事業は、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な復旧需要が一巡したこともあり当第 2 四半期連結累計期間の売上高は横ばいとなりました。環境ソリューション事業においては、再生可能エネルギーの全量買取制度をはじめとする省エネ・創エネ・蓄エネに対する需要の高まりに加え、太陽光発電関連商品のシェア拡大と販路拡大への注力により好調に推移しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加により営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	124 億 82 百万円	140 億 14 百万円	+12.3%
	海外	168 億 73 百万円	185 億 43 百万円	+9.9%
	合計	293 億 55 百万円	325 億 57 百万円	+10.9%
営業利益		20 億 69 百万円	19 億 17 百万円	△7.3%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康機器の新商品（血圧計、体重体組成計、婦人用電子体温計、電動歯ブラシ、マッサージ機器、ねむり時間計、睡眠計）の販売が好調に推移するとともに、主力商品である血圧計も好調な売上を維持するなど堅調に推移しました。一方、医療機関向け機器は、医療機関における慎重な投資姿勢もあり、横ばいに推移しました。結果として当第 2 四半期連結累計期間における国内売上高は、東日本大震災の影響による前年同期の一時的な売上減の反動もあり、前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

金融不安や景気減速による欧州市場での需要が低迷しているものの、ロシア・中国・東南アジアなどの新興国では健康機器商品の需要の増加が継続しており、当第 2 四半期連結累計期間の海外売上高は総じて好調に推移しました。

<営業利益の状況>

ユーロ安などにより営業利益は前年同期比で減少しました。

その他事業

		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		261 億 87 百万円	254 億 57 百万円	△2.8%
営業利益 (△損失)		△20 億 38 百万円	△6 億 48 百万円	—

その他のセグメントでは、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄事業として担当しています。

<環境事業の売上高の状況>

代替電力対策として、太陽光発電に対する期待が高まる中、ソーラーパワーコンディショナ（創エネ事業）の需要増などにより当第 2 四半期連結累計期間の売上高は好調に推移しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

産業用組み込みコンピュータなどは堅調に推移しましたが、無停電電源装置の前年同期の一時的な需要増の反動により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期並みに推移しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

MEMS マイクロフォンチップの需要が大きく増加したものの、半導体生産受託の需要減により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減少しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

スマートフォン市場は好調に推移しているものの、顧客案件が後倒しになったことにより、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

環境事業の売上高の増加により営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、売上債権の減少などにより 226 億 8 百万円減少して、5,147 億 15 百万円となりました。また、負債の部は支払手形及び買掛金・未払金などの減少により、前連結会計年度末に比べ 203 億 5 百万円減少して、1,953 億 38 百万円となりました。純資産の部は為替換算調整額等の変動により、前連結会計年度末に比べ 23 億 3 百万円減少し、3,193 億 77 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 59.7% から 61.8% となりました。

当第 2 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分控除前四半期純利益の計上に加え売上債権の回収により、270 億円の収入（前年同期比 86 億 29 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への投資実行などにより、139 億円の支出（前年同期比 23 億 29 百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや短期債務の減少により、73 億 69 百万円の支出（前年同期比 262 億 72 百万円の支出減）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 2 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 42 億 42 百万円増加し、494 億 99 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成 24 年 4 月 26 日発表のとおりとし、変更いたしません。なお、第 3 四半期以降の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル 79 円、1 ユーロ 102 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	308,097	57.3	291,377	56.6
現金及び現金同等物	45,257		49,499	
受取手形及び売掛金	143,304		123,019	
貸倒引当金	△ 2,205		△ 1,876	
たな卸資産	92,253		92,363	
繰延税金	17,975		17,556	
その他の流動資産	11,513		10,816	
有 形 固 定 資 産	120,706	22.5	118,949	23.1
土地	26,950		26,794	
建物及び構築物	128,870		128,030	
機械その他	142,148		140,032	
建設仮勘定	7,417		8,773	
減価償却累計額	△ 184,679		△ 184,680	
投 資 そ の 他 の 資 産	108,520	20.2	104,389	20.3
関連会社に対する 投資及び貸付金	14,443		15,754	
投資有価証券	36,161		30,129	
施設借用保証金	7,219		7,005	
繰延税金	34,516		34,537	
その他の資産	16,181		16,964	
資 産 合 計	537,323	100.0	514,715	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	152,896	28.5	135,547	26.4
短期債務	18,774		13,737	
支払手形及び買掛金・未払金	79,331		69,899	
未払費用	29,179		28,062	
未払税金	623		1,021	
その他の流動負債	24,989		22,828	
繰延税金	738	0.1	571	0.1
退職給付引当金	60,432	11.2	57,588	11.2
その他の固定負債	1,577	0.3	1,632	0.3
負債の部合計	215,643	40.1	195,338	38.0
(純資産の部)				
株 主 資 本	320,840	59.7	318,114	61.8
資 本 金	64,100	11.9	64,100	12.5
資 本 剰 余 金	99,078	18.4	99,066	19.2
利 益 準 備 金	10,034	1.9	10,801	2.1
その他の剰余金	260,557	48.5	268,979	52.3
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 68,433	△ 12.7	△ 80,339	△ 15.7
為替換算調整額	△ 36,544		△ 45,790	
退職年金債務調整額	△ 38,815		△ 38,312	
売却可能有価証券未実現利益	6,995		3,726	
デリバティブ純利益(△純損失)	△ 69		37	
自 己 株 式	△ 44,496	△ 8.3	△ 44,493	△ 8.6
非 支 配 持 分	840	0.2	1,263	0.2
純資産の部合計	321,680	59.9	319,377	62.0
負債及び純資産合計	537,323	100.0	514,715	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕		当第2四半期連結累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	303,258	100.0	304,216	100.0
売 上 原 価	188,261	62.1	192,494	63.3
売 上 総 利 益	114,997	37.9	111,722	36.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	71,573	23.6	72,105	23.7
試 験 研 究 開 発 費	20,711	6.8	21,626	7.1
営 業 利 益	22,713	7.5	17,991	5.9
そ の 他 費 用 - 純 額 -	1,640	0.6	771	0.2
税 引 前 四 半 期 純 利 益	21,073	6.9	17,220	5.7
法 人 税 等	7,207	2.3	5,579	1.8
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	831	0.3	△ 472	△ 0.1
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	13,035	4.3	12,113	4.0
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 (△ 損 失)	37	0.0	△ 158	△ 0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	12,998	4.3	12,271	4.0

(四半期連結包括損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
	金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益	13,035	12,113
その他の包括利益－税効果考慮後		
為 替 換 算 調 整 額	△ 12,913	△ 9,259
退 職 年 金 債 務 調 整 額	344	503
売却可能有価証券未実現利益 (△損失)	△ 2,914	△ 3,269
デリバティブ純利益 (△純損失)	△ 76	106
その他の包括利益 (△損失) 計	△ 15,559	△ 11,919
四半期包括利益 (△損失)	△ 2,524	194
(内訳)		
非支配持分に帰属する四半期包括利益 (△損失)	19	△ 171
当社株主に帰属する四半期包括利益 (△損失)	△ 2,543	365

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
			〔自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日〕	〔自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日〕		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 非支配持分控除前四半期純利益			13,035		12,113	
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整						
(1) 減価償却費		10,729		10,659		
(2) 固定資産除売却損(純額)		74		14		
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△	289		△ 334		
(4) 投資有価証券の減損		61		579		
(5) 退職給付引当金	△	3,133		△ 1,992		
(6) 繰延税金	△	734		1,712		
(7) 持分法投資損益(△利益)		831		△ 473		
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		12,471		15,840		
② たな卸資産の増加	△	17,833		△ 3,651		
③ その他の資産の減少		1,193		1,416		
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)		2,713		△ 5,684		
⑤ 未払税金の増加		1,682		402		
⑥ 未払費用及びその他流動負債の減少	△	2,251		△ 1,890		
(9) その他(純額)	△	178		△ 1,711		
営業活動によるキャッシュ・フロー			5,336		14,887	
			18,371		27,000	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入			331		781	
2. 資本的支出	△	12,768		△ 14,068		
3. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)	△	160		159		
4. 有形固定資産の売却による収入		1,332		685		
5. 関連会社に対する投資及び貸付金の増加	△	306		△ 1,884		
6. 事業の売却(現金流出額との純額)		-		90		
7. 非支配持分の買取		-		△ 10		
8. その他(純額)		-		347		
投資活動によるキャッシュ・フロー			△ 11,571		△ 13,900	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の減少(純額)	△	30,081		△ 4,985		
2. 親会社の支払配当金	△	3,522		△ 3,082		
3. 非支配株主への支払配当金	△	15		△ 2		
4. 非支配株主からの資本取引による入金額		-		596		
5. その他(純額)	△	23		104		
財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 33,641		△ 7,369	
IV 換算レート変動の影響			△ 2,693		△ 1,489	
現金及び現金同等物の増減額			△ 29,534		4,242	
期首現金及び現金同等物残高			74,735		45,257	
四半期末現金及び現金同等物残高			45,201		49,499	
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額			135		123	
2. 法人税等の支払額			6,334		3,470	
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
資本的支出に関連する債務			206		625	

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	143,168	40,771	40,065	20,454	29,355	26,187	300,000	3,258	303,258
(2)セグメント間の内部売上高	2,940	28,193	197	1,735	21	7,417	40,503	△ 40,503	—
計	146,108	68,964	40,262	22,189	29,376	33,604	340,503	△ 37,245	303,258
営業費用	124,695	64,812	38,832	25,681	27,307	35,642	316,969	△ 36,424	280,545
営業利益(△損失)	21,413	4,152	1,430	△ 3,492	2,069	△ 2,038	23,534	△ 821	22,713

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	129,893	42,605	47,257	23,471	32,557	25,457	301,240	2,976	304,216
(2)セグメント間の内部売上高	2,864	24,623	110	1,824	39	8,559	38,019	△ 38,019	—
計	132,757	67,228	47,367	25,295	32,596	34,016	339,259	△ 35,043	304,216
営業費用	118,049	64,018	44,587	27,176	30,679	34,664	319,173	△ 32,948	286,225
営業利益(△損失)	14,708	3,210	2,780	△ 1,881	1,917	△ 648	20,086	△ 2,095	17,991

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	140,399	35,828	43,708	55,048	28,275	303,258	—	303,258
(2)セグメント間の内部売上高	68,543	1,096	858	31,075	6,357	107,929	△ 107,929	—
計	208,942	36,924	44,566	86,123	34,632	411,187	△ 107,929	303,258
営業費用	198,647	35,505	42,382	79,474	31,314	387,322	△ 106,777	280,545
営業利益(△損失)	10,295	1,419	2,184	6,649	3,318	23,865	△ 1,152	22,713

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	149,670	39,568	36,320	52,990	25,668	304,216	—	304,216
(2)セグメント間の内部売上高	61,902	972	509	33,075	8,153	104,611	△ 104,611	—
計	211,572	40,540	36,829	86,065	33,821	408,827	△ 104,611	304,216
営業費用	201,577	39,199	36,350	80,354	31,502	388,982	△ 102,757	286,225
営業利益(△損失)	9,995	1,341	479	5,711	2,319	19,845	△ 1,854	17,991

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	36,957	46,485	55,650	29,526	168,618
II 連結売上高					303,258
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.2	15.3	18.4	9.7	55.6

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	40,173	39,150	53,665	26,844	159,832
II 連結売上高					304,216
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.2	12.9	17.6	8.8	52.5

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第2四半期累計			通期		
		平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	前年同期比	平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	303,258	304,216	100.3%	619,461	650,000	104.9%
営業利益 (率)	百万円 (%)	22,713 (7.5%)	17,991 (5.9%)	79.2% (△1.6P)	40,136 (6.5%)	46,000 (7.1%)	114.6% (+0.6P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	21,073 (6.9%)	17,220 (5.7%)	81.7% (△1.2P)	33,547 (5.4%)	43,000 (6.6%)	128.2% (+1.2P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	12,998	12,271	94.4%	16,389	28,500	173.9%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	59円06銭	55円74銭	△3円32銭	74円46銭	129円47銭	+55円01銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	59円06銭	55円74銭	△3円32銭	74円46銭	129円47銭	+55円01銭
株主資本当社株主に帰属する 当期純利益率	(%)				5.2%	8.5%	(+3.3P)
総資産	百万円	519,181	514,715	99.1%	537,323		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	307,123 (59.1%)	318,114 (61.8%)	103.6% (+2.7P)	320,840 (59.7%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,395円47銭	1,445円11銭	+49円64銭	1,457円51銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	18,371	27,000	+8,629	31,946		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△11,571	△13,900	△2,329	△26,486		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△33,641	△7,369	+26,272	△33,492		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	45,201	49,499	+4,298	45,257		

(注) 連結子会社数は151社、持分法適用関連会社数は13社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成24年3月期 第2四半期累計	平成25年3月期 第2四半期累計	前年同期比
I A B	国 内	618	587	94.9%
	海 外	813	712	87.5%
	計	1,431	1,299	90.7%
E M C	国 内	112	134	119.6%
	海 外	296	292	98.8%
	計	408	426	104.5%
A E C	国 内	125	159	127.2%
	海 外	276	314	113.8%
	計	401	473	118.0%
S S B	国 内	203	234	115.1%
	海 外	1	1	65.5%
	計	204	235	114.8%
H C B	国 内	125	141	112.3%
	海 外	169	185	109.9%
	計	294	326	110.9%
その他	国 内	136	166	121.6%
	海 外	126	89	70.7%
	計	262	255	97.2%
消去調整他	国 内	28	23	82.1%
	海 外	5	5	91.1%
	計	33	28	84.8%
合 計	国 内	1,347	1,444	107.2%
	海 外	1,686	1,598	94.8%
	(海外比率)	(55.6%)	(52.5%)	(△3.1P)
	計	3,033	3,042	100.3%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成24年3月期 第2四半期累計	平成25年3月期 第2四半期累計	前年同期比
I A B	214	147	68.7%
E M C	42	32	77.3%
A E C	14	28	194.4%
S S B	△ 35	△ 19	—
H C B	21	19	92.7%
その他	△ 20	△ 6	—
消去調整他	△ 9	△ 21	—
合計	227	180	79.2%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成24年3月期 第2四半期累計	平成25年3月期 第2四半期累計	前年同期比
U S D	79.7	79.4	△ 0.3
E U R	114.1	101.1	△13.0

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
I A B	国 内	1,231	1,200	97.4%
	海 外	1,477	1,470	99.5%
	計	2,708	2,670	98.6%
E M C	国 内	253	295	116.8%
	海 外	577	580	100.4%
	計	830	875	105.4%
A E C	国 内	289	310	107.3%
	海 外	561	640	114.0%
	計	850	950	111.7%
S S B	国 内	569	655	115.1%
	海 外	3	5	161.3%
	計	572	660	115.4%
H C B	国 内	272	295	108.2%
	海 外	352	400	113.7%
	計	624	695	111.3%
その他	国 内	295	430	145.5%
	海 外	240	160	66.7%
	計	535	590	110.2%
消去調整他	国 内	55	50	90.9%
	海 外	21	10	47.6%
	計	76	60	78.9%
合 計	国 内	2,964	3,235	109.2%
	海 外	3,231	3,265	101.0%
	(海外比率)	(52.2%)	(50.2%)	(△2.0P)
	計	6,195	6,500	104.9%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
I A B	333	335	100.5%
E M C	72	80	110.5%
A E C	27	50	185.8%
S S B	1	25	2551.0%
H C B	29	45	154.2%
その他	△ 36	△ 5	—
消去調整他	△ 25	△ 70	—
合計	401	460	114.6%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成24年3月期	平成25年3月期 予想	前期比
U S D	79.3	79.2	△ 0.1
E U R	110.3	101.5	△ 8.8